

高陽町商工会だより

発行:高陽町商工会

会長 江川 寛
編集責任 高陽町商工会広報委員会
広島市安佐北白木町大字秋山2391-4
TEL : 828-0703 FAX : 828-1764
E-mail : shiraki@hint.or.jp

平成 2 4 年 3 月 1 0 日

発 行

3 月 10 日現在の会員数 1, 0 3 3 名

支所
本所
広島市安佐北区深川5-21-21
TEL : 842-0186 FAX : 845-0939
E-mail : koyo@hint.or.jp

高陽町商工会

設立50周年記念祝賀会

平成二十四年一月十九日(木)午後五時三十分より、リーガロイヤルホテルにて、商工会会員をはじめ、地元国会議員・県議会議員・市会議員・行政関係者など、二百二十三名の参加により開催しました。記念式典開催にあたり江川寛会長は、設立当時の経緯を報告。昭和三十六年三月十四日「商工会の組織等に関する法律」の公布に伴い、商工会発起人有志(総代中野大氏)により、旧高陽町役場に事務局を設置し、同年五月二十九日広島県知事の設立許可を得て、六月十六日設立登記を完了「高陽町商工会」が設立、初代会長に中野大氏就任、二百四十三名で発足し、第二代会長黒川偉策氏、昭和六十年第三代会長増井克志氏、平成十二年第四代現会長就任、その間に昭和四十一年女性部(婦人部)、四十五年青年部設立、平成二十一年四月高陽町商工会と白木町商工会合併。現在、会員数千名を超える組織形態となった。又、昭和五十四年十一月第一回高陽町民ゴルフ大会、五十五年高陽まつり、五十七年さくら事業、五十九年内電話帳作成、平成三年高陽町商工会会館竣工、平成二十三年商工貯蓄共済加入促進キャンペーンで、日本一位特別表彰受賞等、現在に至る多くの地域貢献活動、業務成績の実績を報告

高陽町商工会 設立50周年記念式典・祝賀会



高陽町商工会 設立50周年記念式典・祝賀会



記事 総務委員長 大前 清治

別冊として発行予定です

総務委員会報告

平成二十四年一月十九日(木)午後五時三十分より、リーガロイヤルホテルにて、商工会会員をはじめ、地元国会議員・県議会議員・市会議員・行政関係者など、二百二十三名の参加により開催しました。記念式典開催にあたり江川寛会長は、設立当時の経緯を報告。昭和三十六年三月十四日「商工会の組織等に関する法律」の公布に伴い、商工会発起人有志(総代中野大氏)により、旧高陽町役場に事務局を設置し、同年五月二十九日広島県知事の設立許可を得て、六月十六日設立登記を完了「高陽町商工会」が設立、初代会長に中野大氏就任、二百四十三名で発足し、第二代会長黒川偉策氏、昭和六十年第三代会長増井克志氏、平成十二年第四代現会長就任、その間に昭和四十一年女性部(婦人部)、四十五年青年部設立、平成二十一年四月高陽町商工会と白木町商工会合併。現在、会員数千名を超える組織形態となった。又、昭和五十四年十一月第一回高陽町民ゴルフ大会、五十五年高陽まつり、五十七年さくら事業、五十九年内電話帳作成、平成三年高陽町商工会会館竣工、平成二十三年商工貯蓄共済加入促進キャンペーンで、日本一位特別表彰受賞等、現在に至る多くの地域貢献活動、業務成績の実績を報告

総務委員会委員長 大前 清治

事務局報告

東日本大震災に係る義援金の結果報告

昨年三月十一日の東北地方太平洋沖地震により、津波等にて東日本地域で未曾有の大被害が発生しました。被災地域同業者支援の為、会員の皆様に義援金をお願いを致しましたところ多数の義援金を頂きまして誠に有難うございました。

別記一覧表の通り結果報告とさせて頂きます。尚、昨年十一月二十四日、東京・渋谷のNHKホールで開催された「第五十一回商工会全国大会」において被災地の千葉岩手県連会長・天野宮城県連会長・田子福島県連会長・田中福島県双葉町商工会長より全国各地商工会から心温まる義援金を頂き感謝の言葉が述べられました。東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧復興を改めまして祈念いたします。

東日本大震災に係る義援金 (同業者支援分) 状況報告

高陽町商工会 実績報告 (同業者支援分)		平成 24 年 1 月 23 日現在	
全て広島県商工会連合会に送金済			
項目	高陽町目標金額	実績金額	達成率
1: 商工会 (会員数規模に応じて)	200,000円	200,000円	
2: 商工会会員 (1,000円以上/1会員)	1,007,000円	648,917円	
3: 商工会職員 (3,000円以上/1名)	21,000円	21,000円	
4: 商工会役員 (5,000円以上/1名)	135,000円	135,000円	
5: 商工会長 (10,000円以上/1名)	10,000円	10,000円	
6: その他 産直市売上金の一部を義援金に	-	50,000円	-
青年部 OB 会開催時 OB 会より	-	30,000円	-
高陽まつり委員会より	-	300,000円	-
合計	1,373,000円	1,394,917円	101.60%

※広島県連より広島県 3 4 商工会分合計 (平成 24 年 2 月 20 日現在) 36,618,238 円全国連へ送金済
※全国連より被災地県連 (岩手・宮城・福島・茨城・千葉)へ (平成 24 年 3 月 7 日現在) 869,000,000 送金済

参考 高陽町商工会 別途上記以外実績報告

女性部 義援金実績 (同業者支援分)		県連へ	
合計		32,000円	

青年部及び商工会 義援金実績 (一般支援分)

項目	実績金額
1: 青年部及び地元中学生にて街頭募金活動	中国新聞社へ 495,670円
2: 商工会チャリティーコンサート募金活動	中国新聞社へ 123,468円
合計	619,138円

「高陽町商工会 会員章」店頭掲示のお願い

本年度、高陽町商工会設立五十周年記念の一環として作成し会員の皆様にお届けいたしました、会員章を店頭に掲示して頂きますようお願い致します。

現在一、〇〇〇名を越える会員の方々がおります。一口に一、〇〇〇名と云いまして、お互い知らない方もおられ、すばらしい仲間であり共に誇りを持って事業を進める為にも店頭に掲示をお願いします。又、B U Y しよう・しらしき運動の原動力として、先ず会員同士相互利用の推進の目印となりますので、会員章掲示のご協力をお願いします。

記事 事務局長 堂脇 成人

高陽町商工会 会員章

お知らせ

五十周年記念表彰状お届けご案内
商工会入会十年以上の会員に表彰状を作成しました。各地区総代・役員・職員にて対象会員に順次お届けいたします。尚、来年度以降も入会十年毎節目の会員にお届けいたします。

- ◆ 五十周年記念式典・祝賀会の写真幹旋ご案内
商工会にて三〇八枚の見本写真を準備しています。
- ◆ 申込み期間 四月十日(火)まで
- ◆ お渡し期間 四月二十日(金)から
- ◆ お渡し価格 一枚五十円

され、現在商工会の置かれている現状を話された。表彰式では、入会五十年表彰を始め十年間隔で、四十年・三十年・二十年・十年以上ごとに代表者授与、代表謝辞は増井克志氏、緊張と歴史を感じる表彰式を実施。その後、広島県知事湯崎英彦様の祝辞を始め多くの、来賓の祝辞・祝電を賜り、閉会の辞を木戸副会長挨拶にて無事終えた。引き続き記念祝賀懇親会では、大下副会長の乾杯発声と同時に、山陽太鼓「禪」、山陽高等学校和太鼓部による威勢の良い、太鼓の音に体を震わせ、見事な抜さばきに見とれ、白木地区「弦心会」津軽三味線演奏と続き、その間、高陽町商工会歴史写真(木戸副会長作成)を上映、ソプラノ歌手大瀬戸美穂「oh! set 合唱団」コンサートで最後は参加者全員で(上を向いて歩こう)(三六五歩のマーチ)二曲を唄い、懇親を温め合い、中締めを青年部の万歳三唱で締め、設立記念祝賀懇親会を終えました。開催に当たり理事、女性部(受付)、青年部、職員、の連携の良さを加えて報告いたします。

事務局長 堂脇 成人

水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

工業部報告

先進地視察旅行

今年の工業部会の研修旅行は、「バイオマス研修」の視察を目的に、二月五日・六日の両日、岡山県真庭市を訪問。

古くから木材産地として形成された林業や木材について研修し、その木材から出る皮や間伐材などを利用したバイオマスによる現在の技術や活用方法の現場を見学しこれからのエネルギー問題について考えさせられる研修となりました。

当日、参加者二十名は、一路岡山の倉敷市へ。先ず訪れたのは今倉敷にて注目されているアウトレットモールの「三井アウトレットパーク」。ここは、昨年十二月にオープンしたばかりとあって、当日のお客数も多く約百五十店舗の有名メーカーの看板が軒を並べ老若男女が一日居ても楽しいパークとなっていました。何といても倉敷駅と直結しているアクセスと隣接するイトーヨーカドーなど、買い回りの楽しさが集結されている商業施設でした。

午後からは、倉敷駅の南に位置する美観地区を見学してお泊りの湯原温泉へ車を走らせました。

二日目は、バイオマス研修。真庭市全体をあげて取り組んでいるこの地区は先進地として全国的にも注目されている地区。先の東北震災による原発事故に伴い原子力エネルギーの



工業部部長 山本 靖則

見直しによりこうしたバイオマスの見直しが一段と加速している現在、大変有意義な研修となりました。先ずは、木質バイオマスの原点でもある木材現場の見学から始まり、木材原木市場や製造場など関連の施設をめぐり、最後は真庭市役所の木質バイオマスエネルギーの活用現場にて説明をうけました。木材チップやペレット燃料からエネルギー棟にて燃料を貯留しバイオマスボイラー空調に移していく行程も見て取れ、二酸化炭素の排出抑制に貢献している様が、理解されました。この度のこうした研修は、わが高陽町にていかに生かしていくか大きな問題であると思える研修旅行となりました。

記事 工業部部長 山本 靖則

第二回企業訪問

(株)三幸産業

工業部会では、去る一月十三日企業見学を開催。今回は、安佐北区上深川町一二の三「株式会社三幸産業」を訪問。祇園から移転してきて一年。新社屋にて、だしやふりかけなど、徹底した衛生面のなかオリジナリティーの商品づくりの熱意が、伝わってくる企業訪問となりました。

当日は、工業部会の関係者二三名が参加。見学では、白衣や帽子など衛生面の管理の徹底さから白衣に着替えて行程見学からはじまりました。各製造室では、徹底された殺菌作業や清掃面にも時間をかけ、衛生管理面には口に入るものの商品だけに厳しさが感じ取られました。商品は、厳選された国内・地元産の素材を主原料に味を加え、旨みと香りを引き出すようにブレンドされたパック詰めされただしやふりかけ、だしの素・お茶漬け・スープなど数多くの商品が出荷されていました。現在は、大量生産ではなく、個別の受注に対応する個別生産に対応

す。お話を伺い、実践事例を拝見するにつけ、事業者と競合しない取り組みへの工夫がいかに大切か、大いに学ばせていただいた次第です。



今回視察で、特に興味深かったのは、EM（有用微生物）発酵液の製造販売についての視察で、環境浄化型の生活に大きく貢献できる事業と思われます。今後、わが商工会においても参考にし活かしていかなければならないと思います。

記事 まちづくり新事業策定委員会 水口 弘士

女性部報告

女性部部长 大瀬戸紫苑子

中国経済産業局長表彰を受賞



去る一月十八日広島プリンスホテルにて、県女連45周年式典が挙行されました。その式典にて高陽町商工会女性部は平素の事業活動が顕著であり、商工会の事業運営に協力するなど、他の女性部の模範となるとして、中国経済産業局長からこの四十五周年記念大会にあたり、表彰を受けました。これからも、この受賞を糧にこれからもより一層活発となる様、部員の皆様とともに頑張っていきたいと思います。

記事 女性部副部长 原田 美佐子



しているが、今後の大口受注に期待が大きい。従業員数は、一〇〇名を超え採用に当たっては、地元の雇用を最優先として採用するなど、地元へ貢献すべく地域雇用にも力を入れる経営方針。

青年部報告

青年部部长 滝口 恒明

木の宗山「憩いの森」桜苗木植樹

一月二十九日(日)と二月一日(水)の二日間、木ノ宗山憩いの森周辺の林地を町内会の方達や小学校の先生方と整備し桜の苗木の植樹のお手伝いをしました。

二十九日は朝九時〜十一時まで急な斜面をスコップで穴を掘ったり枝や雑草を刈ったりしました。穴は三十センチ位のを百個を目安に掘り、小学生との植樹の準備をしました。

一日はあいにくの雨で、カップを着て百本の桜苗木の植樹をしましたが、雨のため小学生が参加できなかったのが本当に残念でした。

過去、青年部の先輩が高陽町に植樹した千本の桜と共に憩いの森が、桜の名所となることを楽しみにしています。

記事 青年部体育委員長 矢鋪 遊也

女性部の婚活パーティー



女性部の二回目となる地元定住支援事業として地域活性化を目的に位置付けている「婚活パーティー」を実施。出逢いの機会を設けてカップルになつてもらおうと、去る十二月三日に高陽町商工会会議室にて開催しました。当日は、男女合わせて三〇名が参加。二十代から四十代の方で、西区や東広島市から参加もありました。めでたく四組のカップルが成立。是非結婚までゴールインしてほしいと、スタッフ一同願っています。

当日は、女性陣が待つ会場に男性陣が一人一人自己紹介しながら入場。各テーブルにて自己紹介を兼ねたトークキングから開始。気に入った人がいれば、メモをとる人や、お目当ての人とお互いに談笑。雰囲気盛り上げる意味から今回初の試みとして「ダーツゲーム」を実施。二人一組となってダーツに興じてもらいより一層、懇親や出逢いのきっかけを深めてもらおうと企画したところ、会場内では笑い声も飛び交い楽しい時間となりました。また、飲食を交え、楽しくトークキングをした後に、各自希望者を書いてもらい、集計した結果、めでたく四組のカップルが成立。これからは、二人でドラマを作っていくてもらい、成就できるよう願っています。

女性部としては、より多くのカップルが誕生するよう、引き続き実施していきます。内容も充実したものにすべく、企画してまいります。乞うご期待。

記事 女性部副部长 平田 ミチ子

水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

家族レクリエーション

三月四日青年部家族レクリエーションとして、昨年未倉敷にオープンしたばかりの「三井アウトレットパーク」と倉敷美観地区に行つて参りました。

倉敷駅中心に北に大型商業施設、南に観光名所と、魅力的な町になっていました。あいにくの天候でしたが、買物に観光にそれぞれ楽しんでおられた様子で、参加された皆様は、部員同士の懇親、またなかなか出来ない家族サービスが出来たのではないのでしょうか。今後も有意義な行事を計画していきたいと思えます。



記事 青年部副部长 葉畑 伸一

まちづくり新事業策定委員会報告

委員長 沖田 龍一

宮原まちづくり(株)視察

昨年十二月五日、まちづくり委員にて熊本県氷川町の宮原まちづくり株式会社を視察してまいりました。

この会社は、行政や住民、地元商工業者等の出資のもと、まちづくりに資する活動を企画運営するもので、まちづくりの先進事例として注目を集めています。

